

# ナナマリ “ハケ岳南麓ボツサ” Live

早くも秋の風が吹き始める山麓から。スペシャルなメンバーと共に送ります！

## 9/28(木)

開場 19:00 / 開演 19:30

料金 予約 3000 円 / 当日 3500 円  
+1 ドリンクオーダー

出演：ナナマリ (Vocal & Guitar)、越田太郎丸 (Guitar)  
山根幸洋 (Bass)、平井景 (Drums)



<会場> 高円寺 Grain (グレイン)



東京都杉並区高円寺北 3-22-4  
U.Kビル 2 階

(JR 高円寺駅北口徒歩2分、  
中通り商店街、中華料理「成都」2 階)

※お食事は1階中華料理「成都」へ  
注文できます。

<ご予約・お問合せ>

[インターネット] <http://nanamari.com/live.html>  
(ナナマリHP 予約フォーム)

[メール] [contact@nanamari.com](mailto:contact@nanamari.com)

(公演日、代表者名、連絡先、人数 を明記ください)

[電話]

03-6383-0440 または 080-5488-0195 (Grain)

## <出演者プロフィール>

### ■ナナマリ (Vocal, Guitar, 作詞, 作曲) <http://nanamari.com/>

埼玉県出身。2004年に山梨へ移住。ハケ岳南麓の自然に囲まれた暮らしの中からインスピレーションを受け、独自の目線で描いた楽曲が定評を得ている。2008年1stミニアルバム「雨粒」でメジャーデビュー。これまでに、カバー作品を含む計5枚のCDをリリース。2016年6月に発売となった、平井景プロデュースの最新作「Sketchbook」は、音楽誌やラジオ番組でも大きく取り上げられるなど、各方面から話題を集め、現在、全国へ向けて展開中。

### ■越田太郎丸 (Guitar) <http://taroma.air-nifty.com/>

『Prismatica』のギタリストとしてCDデビューベスト盤を含む7枚のアルバムをリリース。トニーニョ・オルタ、ジョアン・ボスコ、アントニオ・カルロス・ジョビンなどから作曲、編曲、奏法の影響を受けブラジル音楽を軸に演奏活動を展開。『Prismatica』のほか『Bossa do Mago』『森』などのバンドに参加し、作曲・編曲も手掛ける。これまでに、岩崎宏美、葉加瀬太郎、石丸幹二、瀬木貴将、ウェイウェイウー、Yae、NAOTO、中孝介、城南海、Jazztronikなど様々なアーティストのコンサート、レコーディングに参加。

### ■山根幸洋 (Bass) <http://yukihiro-yamane.com/>

東京都内にある音楽専門学校在学中よりプロ活動開始。ドラマー吉田和雄氏の「Toquio Bossa Trio」に参加。ブラジルや韓国でのライブ&レコーディングは好評を博す。'11年には小野リサのアジア・ツアーに参加。'14年、ブラジルのリオデジャネイロでJoyceと、サンパウロでFilo Machadoとコンサートを行うなど、海外でも活躍。ブラジル音楽を中心に各方面からの信頼も厚い、新進気鋭の実力派ベーシストである。

### ■平井景 (Drums / Produce) <http://www.kayhirai.com/>

東京工業大を卒業。数々のジャズアワード受賞。'09年、新レーベル「Bright Sun's Record」を設立し、自作曲を収録したソロアルバムやコンサートDVDなど多数リリース。'16年には2nd.CD『Running Man』発表。近年は、長野在住ピアニスト・伊佐津さゆりのCDを“信州ジャズ”、また山梨在住のシンガーソングライター・ナナマリのCDを“ハケ岳南麓ボッサ”と銘打ちプロデュース、次々に新ジャンルを誕生させ話題となっている。NHKのテレビやラジオ番組のテーマ曲、大手企業CM、内閣府ビデオなどの作曲・音楽制作も手掛けるなど、マルチな活動を続ける稀有な存在である。

## 最新アルバム 『Sketchbook』



1. ボク Bossa Nova くん、
2. 秋の湖、
3. 君は笑うかな、
4. 蝉、
5. 人類最大の発明、
6. 君がいない世界、
7. やつらの足音のバラード、
8. ツリーハウスの朝、
9. まきばの羊、
10. いやしのうた (全10曲)

作詞・作曲：ナナマリ (Track7のみカバー)  
プロデュース：平井景 副プロデュース：島田奈央子  
Bright Sun's Record(BRSR-CD007) ¥2500(税抜)

独自の哲学を持ったナナマリの世界観。「それって、そうかもしれないよね」と、納得させてしまうのが彼女の詞のマジック。覚えやすいポップなメロディ、ギュッと心が掴まれる郷愁感。どれも彼女の作曲能力の高さを感じさせるものばかり。そこにボサノヴァやジャズのアレンジが施され、洗練されたサウンドになっている。

音楽ライター・島田奈央子(ライナーノーツより抜粋)